疾患名　転移性乳がん　No.37

プロトコール名　PAC+TRASTUZUM併用療法（PAC+HER）

■進行・再発癌　□術後補助化学療法　□術前補助化学療法

□大量化学療法　□局所療法　□その他（　　）

投与順	抗癌剤名（商品名・略号）	1日投与量	投与法	投与時間	投与日（d1, d8等）
1	トラスツズマブ（ハーセプチン・HER）	4mg/Kg	d.i. V.	90分	d1
2	パクリタキセル（タキソール・PAC）	80mg/㎡	d.i. V.	60分	d2.8.15
3	トラスツズマブ（ハーセプチン・HER）	2mg/Kg	d.i. V.	90分	d8.15.22
4					

1コース期間　（次コースまでの標準期間）	4週
総コース数	制限なし
コース間での休薬の規定	好中球Grade4のときはPAC,HERとも1週休薬 好中球Grade3のときはPACのみ1週休薬、HERは続行

減量規定・中止基準	Grade4の好中球減少→次よりPACのみ80%量に減量、 HERは同量を継続
投与量の増量規定	PACは100mg/㎡まで増量可能
投与期間の短縮規定	1日短縮可能
コースによる変化	HERの初回投与時は4mg/Kg、2回目以降2mg/Kg
1日の中での抗癌剤投与順	HER→PAC
プレメディケーション・ポストメディケーション	PAC投与前： デカドロン20mg+ザンタック50mg（ガスター20mg）+レスタミンコーワ5錠 必要に応じて5-HT3の投与

患者条件

①PS規定：PS 0～2　②HER2陽性

③主たる臓器機能が保持されている症例　④心エコーで心駆出率50%以上

除外規定

□重篤な骨髄抑制のある患者　□感染症のある患者　□妊婦

□ 重篤な心障害のある患者

過敏症の既往のある患者

□TRASTUZUM　□ポリオキシエチレンヒマシ油

実施上の注意点

（1）ハーセプチン投与開始前には必ず患者の心機能を確認する。

（2）ハーセプチン投与開始24時間以内に現れるInfusion reactionのうち、アナフィラキシー様症状、肺障害等の重篤な副作用は特に安静時呼吸困難のある患者、又はその既往歴のある患者において重篤化しやすいので、患者の状態を十分に観察しながら慎重に投与する。

（3）タキソール注投与開始後から1時間は、頻回にバイタルサイン（血圧、脈拍数）のモニタリングを行うなど患者の状態を十分に観察を行う。特に投与開始10分以内は注意が必要である。

その他（特記事項）

【PAC】 □5%ブドウ糖と生食以外の薬剤とは混注しない

□DEHPを含有しているルートを使用しない

□0.22ミクロン以下のメンブランフィルターの使用

【TRASTUZUM】 □調製から投与まで時間をおかない

□添付の日局注射用水、生食以外は使用しない

□溶解後、泡が消える前に使用しない

□点滴静注以外はしない

□他剤とは混注しない